

広島港湾空港技術調査事務所

お知らせ

記者発表資料	令和2年7月3日
配布日時	14:00

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞社、日本海事新聞社、都市計画通信社

港湾分野における i-Construction

まなびや 「実りある学舎」の聴講参加者を募集します！

実りある学舎は、学識経験者や各分野のスペシャリストを講師に招き、最新の情報や気になる話題などをテーマとした情報収集・発信の場と位置付け、技術力の向上や今後の効率的な事業展開につながる場となるように、広島港湾空港技術調査事務所が定期的に行っている講演会です。

令和2年度 第1回 実りある学舎 は、国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室長 櫻井義夫氏、主任研究官の坂田憲治氏、交流研究員の吉野拓之氏を講師にお迎えし、港湾分野における ICT の導入についてご講演いただきます。

下記により聴講参加者を募集しますのでご参加下さい。なお、今回はWEB配信による開催となります。

記

1. 日 時 令和2年7月28日（火） 14:00～16:00
2. 配信方式 WEB会議システム（Skype for Business）
3. 聴講申込み 広島技調HP「お問い合わせメール」又はFAXにてお申し込み下さい。（参加費無料）
人数制限がありますので、お早めにお申し込み下さい。
※詳細は別紙「開催案内チラシ」をご参照下さい。
4. 取材申込み 講演会当日の取材をご希望の場合は、令和2年7月17日（金）15:00までに別添の取材申込書に必要事項をご記入の上、当事務所宛にFAXにて送信くださいますようお願いいたします。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所 調査課

TEL：082-250-1902 FAX：082-250-1905

広島技調HP：<https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/gicyo>

【担当】 副 所 長 水谷 享二
建設管理官 鍵本 慎太郎

広島技調

検索



国土を整え、全力で備える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

中国地方整備局

広島港湾空港技術調査事務所 調査課 宛て

F A X 0 8 2 - 2 5 0 - 1 9 0 5

令和2年度 第1回 実りある学舎 取材申込書

令和2年 月 日

所 属 名	
氏 名	ふりがな
連 絡 先	T E L
	F A X
	メール

港湾分野における i-Construction

～WEB会議～

 i-Construction

7月28日 火曜日

14:00～16:00 (13:30接続開始)

令和2年度
第1回

実りある学舎

講師

国土交通省 国土技術政策総合研究所
港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室

室長 櫻井 義夫 氏

主任研究官 坂田 憲治 氏

交流研究員 吉野 拓之 氏

配信 方式

WEB会議システム活用

Skype for Business (参加者は、PC、カメラ等をご用意ください。)

7月20日～22日 14:00～16:00の間で接続テストを行う予定です。

主催 共催

中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所

公益社団法人 土木学会中国支部

土木学会継続教育(CPD)プログラム認定番号：JSCE20-0325

[2.0単位]

※CPDSプログラムにも認定されています。登録番号：587629

[2ユニット]

本講演会はCPDSの学習履歴申請を主催者が行います。

希望者は申し込みの際、事前にお伝えください。

お申込 方法

広島技調HP「お問い合わせメール(※)」

又はFAX(裏面：申込用紙)でお申し込み下さい。

※広島技調HPにアクセスして頂き、「お問い合わせ」を
クリックして頂くと、「お問い合わせメール」が開きます。

申込〆切：7月17日(金)

広島技調

検索

お問 い合 わせ

広島港湾空港技術調査事務所 調査課

〒734-0011 広島市南区宇品海岸3-10-28 庁舎4F

TEL：082-250-1902 / FAX：082-250-1905

参加費
無料

定員
50名

令和2年度 第1回
実りある学舎

実りある学舎とは

最新技術に関する情報収集や発信の場として、また学識経験者や各分野のスペシャリストから知識を学び取り技術力の向上や効率的な事業展開につなげる場として、「実りある学舎」という講演会を毎年開催しています。

参加費無料でどなたでも参加して頂けますので、この機会にぜひご参加下さい。

講演概要

人口減少社会を迎えた今、社会全体の生産性を高め持続的な経済成長を促進するため、国土交通省では2016年を「生産性革命元年」と位置付けるとともに、2025年までに建設現場の生産性を2割向上させることを目指してi-Constructionを推進しています。

港湾の工事や調査においては水面下での作業が多く、不可視箇所や水中作業を伴います。そのため、可視化や水中作業の低減に対するニーズは多いものと考えられ、計画・調査・設計段階から3次元モデル（BIM/CIM）を導入するなど、ICTを積極的に導入することは今後ますます重要となってくるものと思われます。

本講演では、国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室長 櫻井義夫氏、主任研究官の坂田憲治氏、交流研究員の吉野拓之氏を講師にお迎えし、港湾分野におけるICTの導入についてお話しいたします。

※BIM/CIM：Building Information Modeling / Construction Information Modeling/Management の略

／ 広島港湾空港技術調査事務所 行（FAX：082-250-1905）

【実りある学舎】参加申込用紙

氏名	住所 または 所属会社名	電話番号 及び E-mail	CPDS希望者は ○をつけて ください	接続テスト 参加希望日 (7/20~22)

※個人情報、本講演会の開催目的以外には使用しません。